

工 事 仕 様 書

工事名称 トイレ洋式化改修工事(糸崎保育所・長谷保育所)

工事場所 三原市糸崎三丁目外

工事内容 本工事は、糸崎保育所及び長谷保育所のトイレ洋式化の改修を行う。

【工事概要】

糸崎保育所
洋風大便器 3組新設
手洗器 1組新設
長谷保育所
洋風大便器 2組新設
手洗器 1組新設

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修) に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負代金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和9年2月25日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は、週休2日適用工事等の対象工事ではない。
- ・当該施設の運営等への支障を最小限にするため、工事工程及び作業手順等は最大限の配慮をすること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて職員、園児等の通路の通行制限を行うこととする。
- ・工事の詳細については、事前に施設管理者へ説明を行い、承諾を得ること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・設備機器の固定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」の基準に基づいて検討し、監督員と協議の上、施工すること。
- ・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・施工にあたり、既設天井及び壁面等を加工する必要がある場合は、監督員と協議の上、石綿含有建材の調査を実施すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性（JIS A 1481-1による。）について1検体を見込

んでいる。

- ・作業員に対して、新規入場者教育時に石綿含有建材の位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（完成図書、建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（縮小版・二つ折り・A4版）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）

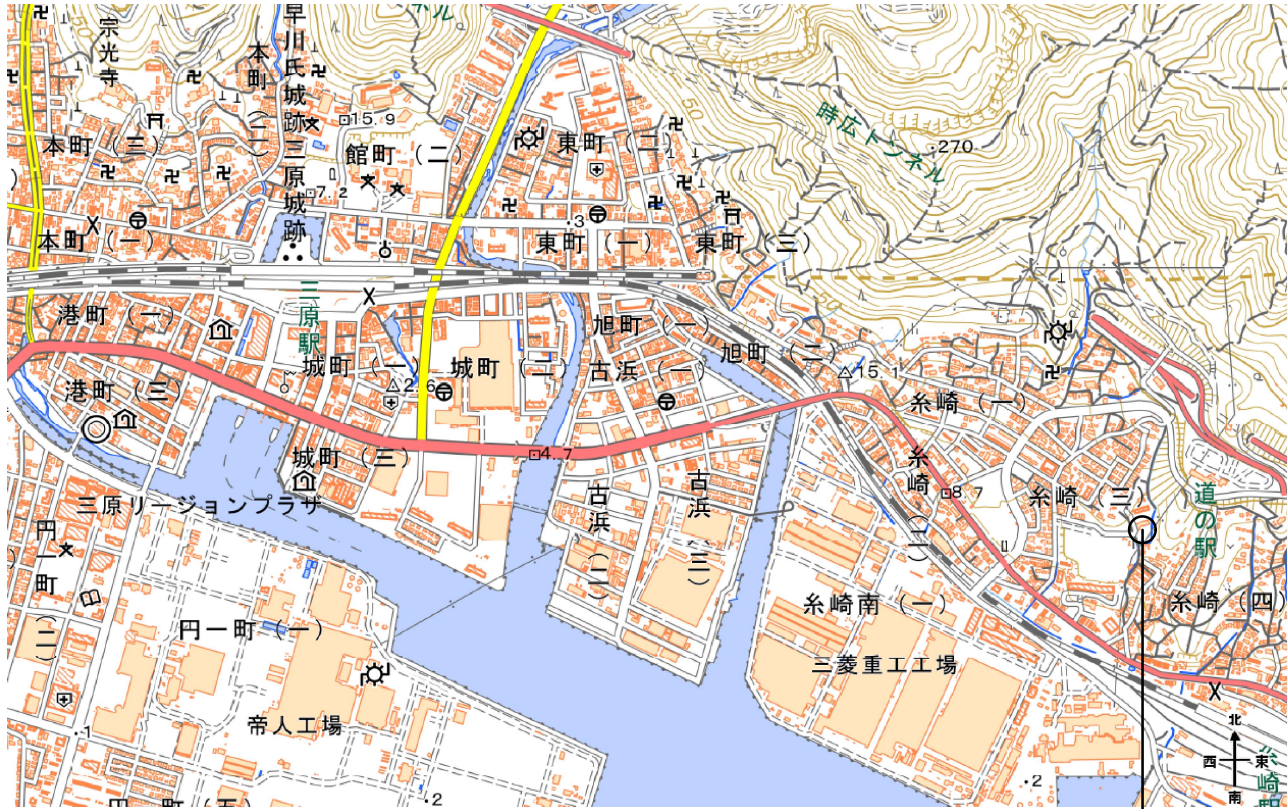
番 号	図面名	縮 尺
M-00	表紙、図面リスト	—
M-01	機械設備特記仕様書（一般共通事項）	—
M-02	機械設備特記仕様書（工種別事項）	—
M-03	糸崎保育所 付近見取図・配置図・管種凡例	1/200
M-04	糸崎保育所 1階平面図	1/100
M-05	糸崎保育所 2階平面図	1/100
M-06	糸崎保育所 衛生設備 改修前後 器具表	—
M-07	糸崎保育所 衛生設備 改修前後 各所便所詳細図	1/50
M-08	糸崎保育所 建築工事 改修前後 仕上表・休息室廻り便所詳細図 矩計図	1/50
M-09	糸崎保育所 建築工事 改修前後 建具表・各所便所詳細図	1/50
M-10	糸崎保育所 コンセント設備 改修前後 各所便所詳細図	1/50
M-11	長谷保育所 付近見取図・配置図・管種凡例	1/300
M-12	長谷保育所 1階平面図	1/100
M-13	長谷保育所 衛生設備 改修前後 器具表・各所平面詳細図	1/50
M-14	長谷保育所 建築工事 改修前後 仕上表・休憩室便所廻り平面詳細図 断面詳細図	1/50
M-15	長谷保育所 コンセント設備 改修前後 各所平面詳細図	1/50

[illegible]

空 気 調 和 ・ 換 気 設 備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内（調整目標値）</th></tr><tr><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="4"></th></tr><tr><th>夏季</th><th>温度（DB）</th><th>湿 度</th><th>温度（DB）</th><th>湿 度</th><th>温度（DB）</th><th>湿 度</th></tr><tr><td>9時</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>12時</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>14時</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>16時</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>冬季</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内（調整目標値）				一 般 系 統						夏季	温度（DB）	湿 度	温度（DB）	湿 度	温度（DB）	湿 度	9時							12時					℃	%	14時							16時							冬季					℃	%	25. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。 空気調和機器等又はフィルターチャンパーの装着枚数の100%を予備品（特付）として納める。 ファンコイルユニットは総台数の（・50%・100%）に当たるフィルターを予備品（特付）として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	排 水 設 備	3) ポンプ排水管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（圧送排水鋼管用MD） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）（車道部以外） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガasket撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法（※搬出費・運搬費・処分費は別途） (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
	外 気 条 件		室 内（調整目標値）																																																										
	一 般 系 統																																																												
	夏季	温度（DB）	湿 度	温度（DB）	湿 度	温度（DB）	湿 度																																																						
	9時																																																												
	12時					℃	%																																																						
	14時																																																												
	16時																																																												
	冬季					℃	%																																																						
	2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 4) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 6) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管	26. 防振基礎	4) 通気管																																																									
3. 弁類	図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。	27. 空調用流体の水質基準	5) 屋外排水管																																																										
4. 空調機用トラップ	トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型	28. フィルターの予備品	2. 排水金物																																																										
5. 鋼板製煙道	1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける	排煙設備	3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ																																																										
6. ばい煙濃度計	3) ばいじん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。	排煙設備	4. 接続納付金等																																																										
7. 冷却塔	コイル通過後のケーシングに隣じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。	排煙設備	5. 樹のコンクリート巻き																																																										
8. ユニット形 空気調和機	風量30,000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。	排煙設備	6. 満水試験継手																																																										
9. ファンコイルユニット	冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 （定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオフィス形） 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空気調和機の配管による。	排煙設備	7. 洗面台接続																																																										
10. パッケージ形 空気調和機	リモコンの系統区分は図示による。	衛生器具設備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による																																																										
11. マルチパッケージ形 空気調和機		衛生器具設備	衛生器具設備																																																										
12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン		衛生器具設備	給湯設備																																																										
13. オイルポンプ	形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形	衛生器具設備	給湯設備																																																										
14. 地下オイルタンク	1) 据付け方法は ※ 標準図（施工35）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工36）（タンク室有り） 2) 保護被覆 ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遮断油量指示装置（液面計は（・抵抗変化式 ・ 磁変式）で（・屋内 ・ 屋外）より油量監視用）を取付ける。 4) 基礎材は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（・本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法	給湯設備	給湯設備																																																										
15. オイルサービスタンク		給湯設備	給湯設備																																																										
16. ダクト	1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法	給湯設備	給湯設備																																																										
17. チャンパー等	1) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工50）を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	給湯設備	給湯設備																																																										
18. 吹出口・吸込口のボックス		給湯設備	給湯設備																																																										
19. グリex除去装置		給湯設備	給湯設備																																																										
20. 風量測定口		給湯設備	給湯設備																																																										
21. 温度計		給湯設備	給湯設備																																																										
22. 圧力計		給湯設備	給湯設備																																																										
23. 定風量・変風量 ユニット		給湯設備	給湯設備																																																										
24. 冷温水管等のエア抜き		給湯設備	給湯設備																																																										

1. 設計用温湿度条件	25. 消音内貼り	3) ポンプ排水管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（圧送排水鋼管用MD） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）（車道部以外） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガasket撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法（※搬出費・運搬費・処分費は別途） (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 4) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 6) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管	26. 防振基礎	4) 通気管
3. 弁類	図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。	27. 空調用流体の水質基準	5) 屋外排水管
4. 空調機用トラップ	トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型	28. フィルターの予備品	2. 排水金物
5. 鋼板製煙道	1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける	排煙設備	3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ
6. ばい煙濃度計	3) ばいじん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。	排煙設備	4. 接続納付金等
7. 冷却塔	コイル通過後のケーシングに隣じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。	排煙設備	5. 樹のコンクリート巻き
8. ユニット形 空気調和機	風量30,000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。	排煙設備	6. 満水試験継手
9. ファンコイルユニット	冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 （定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオフィス形） 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空気調和機の配管による。	排煙設備	7. 洗面台接続
10. パッケージ形 空気調和機	リモコンの系統区分は図示による。	衛生器具設備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による
11. マルチパッケージ形 空気調和機		衛生器具設備	衛生器具設備
12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン		衛生器具設備	給湯設備
13. オイルポンプ	形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形	衛生器具設備	給湯設備
14. 地下オイルタンク	1) 据付け方法は ※ 標準図（施工35）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工36）（タンク室有り） 2) 保護被覆 ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遮断油量指示装置（液面計は（・抵抗変化式 ・ 磁変式）で（・屋内 ・ 屋外）より油量監視用）を取付ける。 4) 基礎材は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（・本工事 ・ 別途工事） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法	給湯設備	給湯設備
15. オイルサービスタンク		給湯設備	給湯設備
16. ダクト	1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法	給湯設備	給湯設備
17. チャンパー等	1) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工50）を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	給湯設備	給湯設備
18. 吹出口・吸込口のボックス		給湯設備	給湯設備
19. グリex除去装置		給湯設備	給湯設備
20. 風量測定口		給湯設備	給湯設備
21. 温度計		給湯設備	給湯設備
22. 圧力計		給湯設備	給湯設備
23. 定風量・変風量 ユニット		給湯設備	給湯設備
24. 冷温水管等のエア抜き		給湯設備	給湯設備

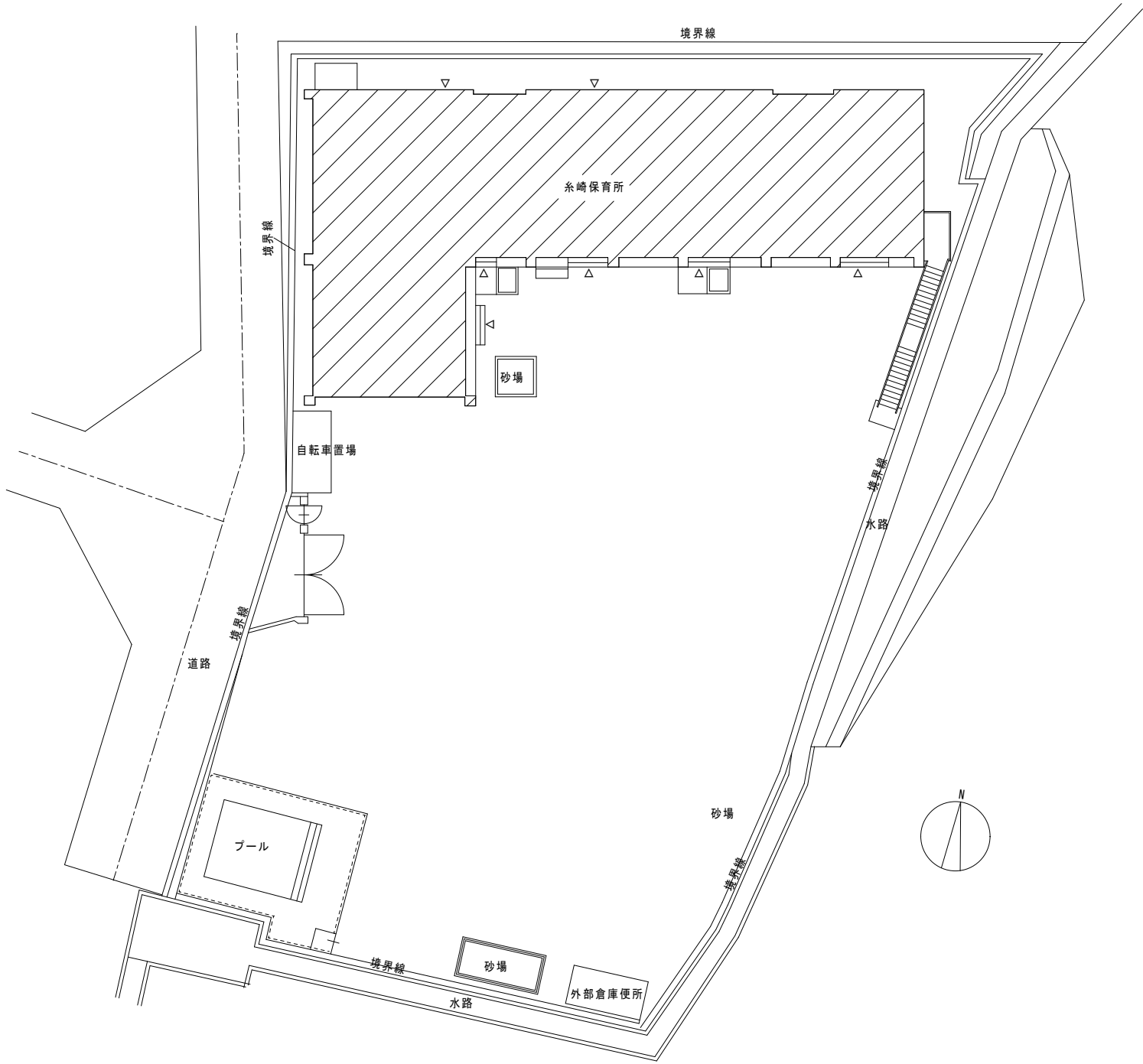
1. 設計用温湿度条件	25. 消音内貼り	3) ポンプ排水管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（圧送排水鋼管用MD） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）（車道部以外） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガasket撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法（※搬出費・運搬費・処分費は別途） (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 4) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 6) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管	26. 防振基礎	4) 通気管
3. 弁類	図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。	27. 空調用流体の水質基準	5) 屋外排水管
4. 空調機用トラップ	トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型	28. フィルターの予備品	2. 排水金物
5. 鋼板製煙道	1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける	排煙設備	3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ



付近見取図

糸崎保育所
三原市糸崎三丁目

管 種 凡 例			
記 号	名 称	仕 様	
----	給 水 管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742	※改修後
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) JWWA K 116	※改修前
	汚 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	
	雑 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	
----	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	



配置図

S=1/200

株式会社 設備計画

代表取締役 呼坂政明

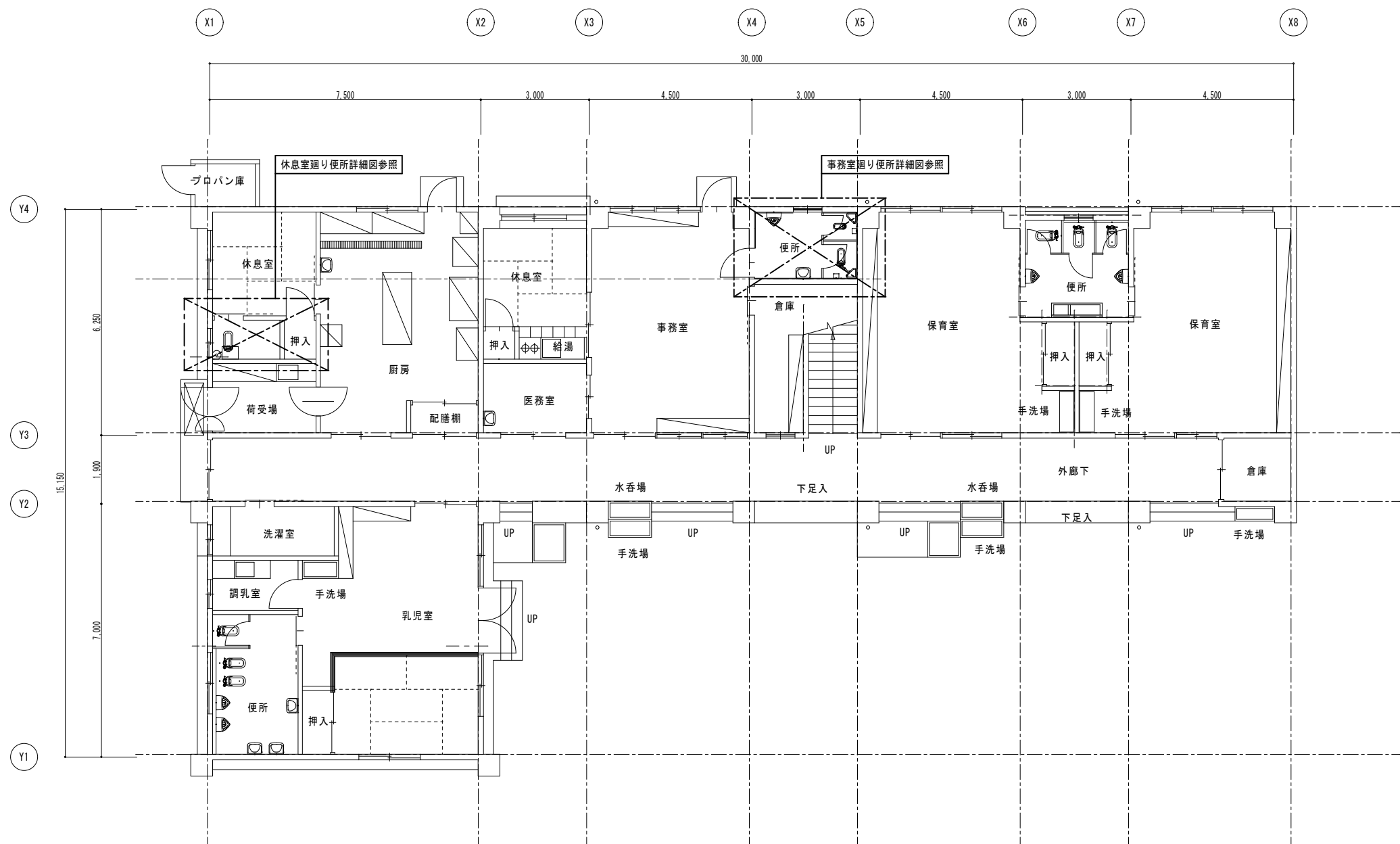
工事名 トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）

図面名 糸崎保育所 付近見取図・配置図・管種凡例

縮尺 S=1/200

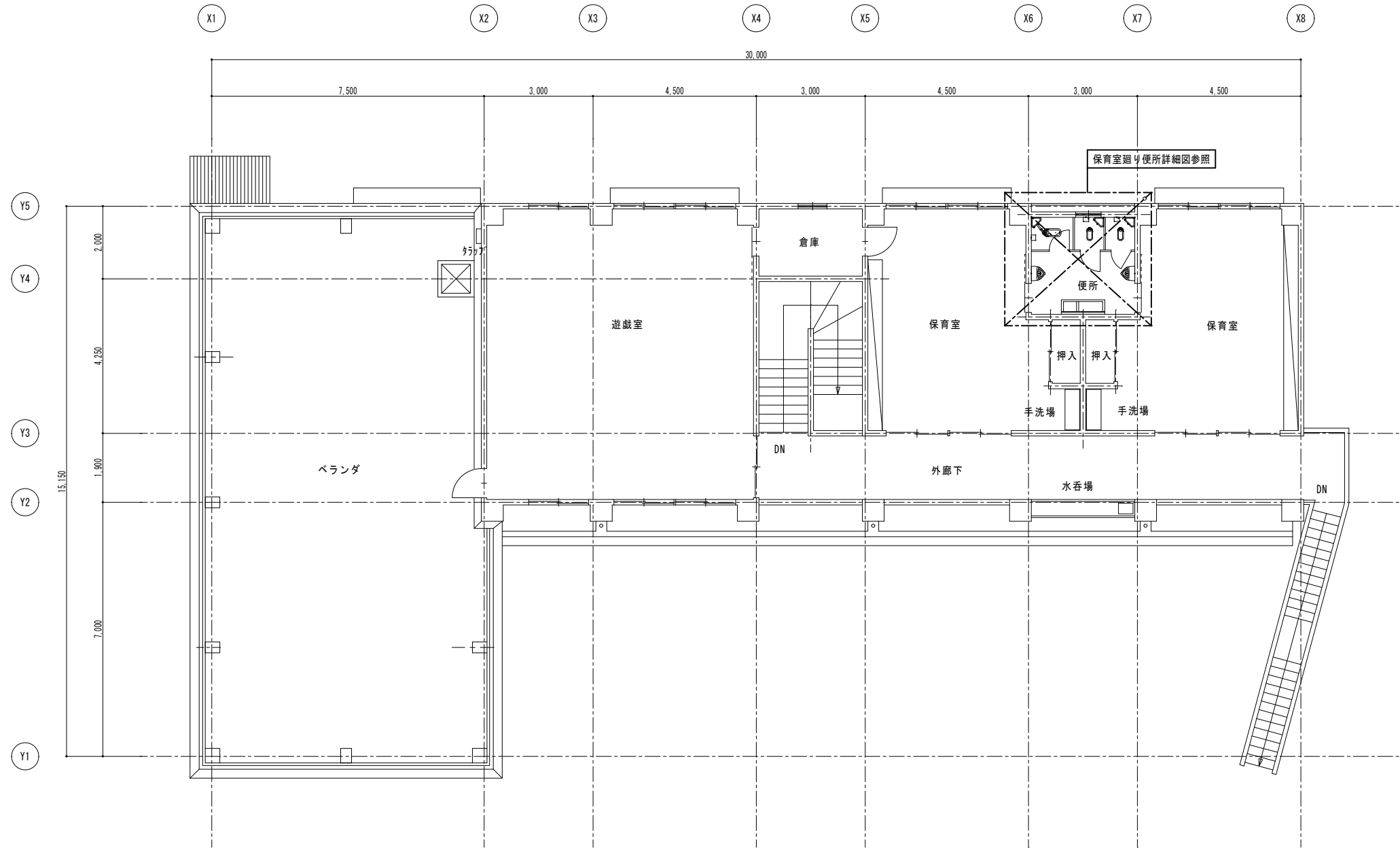
図面番号

M



1階平面図 S=1/100

		株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）	縮尺 S=1/100	図面番号 M 04
			図面名 糸崎保育所 1階平面図		

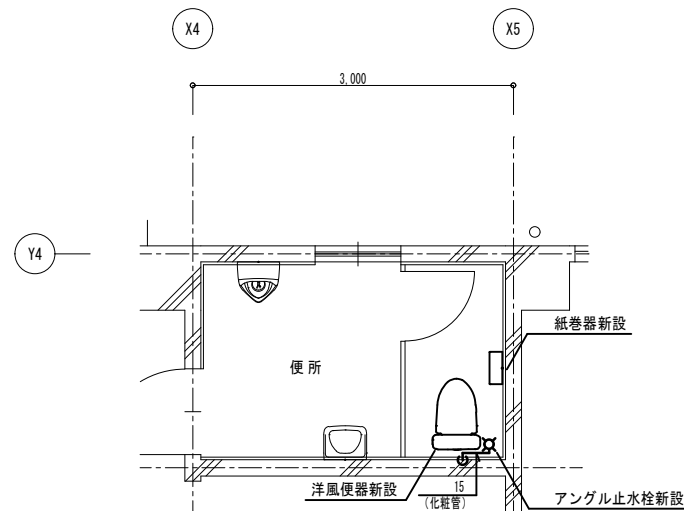


2 階 平 面 図 S=1/100

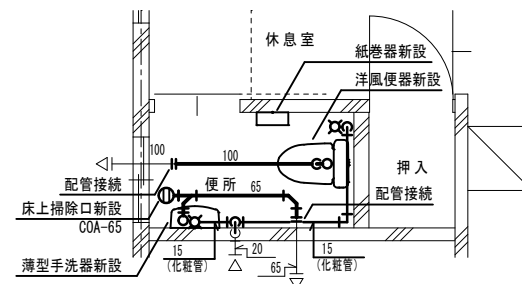
		株式会社 設 備 計 画 代表取締役 呼 坂 政 明	工事名 トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）	縮尺 S=1/100	図面番号 M 05
			図面名 糸崎保育所 2 階平面図		

器 具 表 （新 設）						
器 具 名	品 番 （ＴＯＴＯ）	仕 様	合 計	事 務 室 便 所	休 息 室 便 所	保 育 室 便 所
洋風大便器	ＣＦＳ４９８ＢＹＣ ＴＣＦ２２６ＹＨ６４ＳＲ	床排水，壁給水 床置大便器 フラッシュタンク式 アングル止水栓	3	1	1	1
		暖房便座（着座センサー），棚付紙巻器（２連，樹脂製）・・・ＡＣ１００Ｖ				
洋便化工事		スラブ厚 t＝１２０	2	1		1
手洗器	LSN870ASMS	床排水，壁給水 コンパクト形 自動水栓（発電式） アングル止水栓	1		1	
		水石入れ				

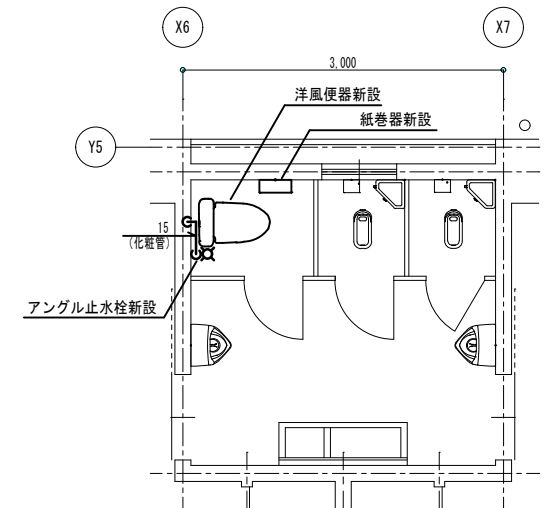
器 具 表 （撤 去）						
器 具 名	仕 様	合 計	事 務 室 便 所	休 息 室 便 所	保 育 室 便 所	
和風便器（幼児用）	床排水，壁給水 隅付ロータンク	1	1			
	紙巻器（１連，ＳＵＳ製）					
和風便器	床排水，壁給水 隅付ロータンク	2	1		1	
	紙巻器（１連，ＳＵＳ製）					
和風便器	床排水，壁給水 ハイタンク	1		1		
	紙巻器（１連，ＳＵＳ製）					
手洗器	壁排水，壁給水	1		1		
鏡	３５０×４５０程度	1		1		



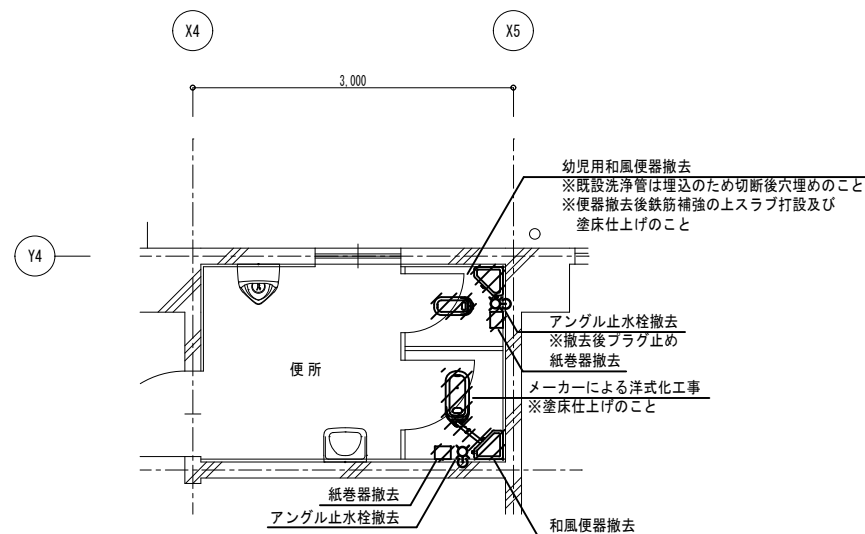
改修後 事務室廻り便所詳細図 S=1/50



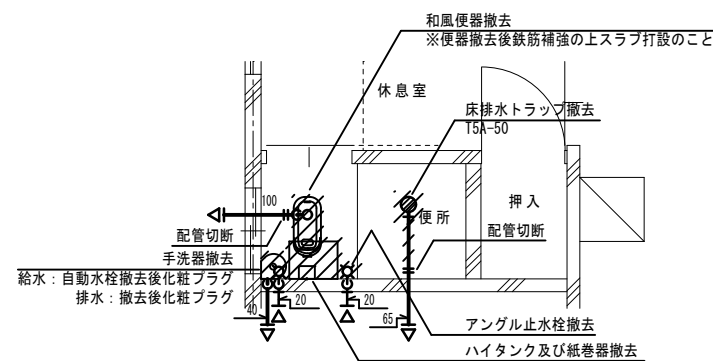
改修後 休息室廻り便所詳細図 S=1/50



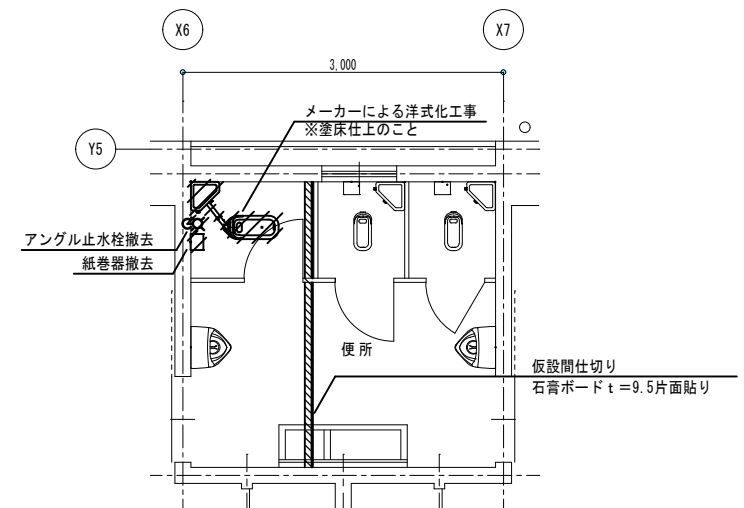
改修後 保育室廻り便所詳細図 S=1/50



改修前 事務室廻り便所詳細図 S=1/50

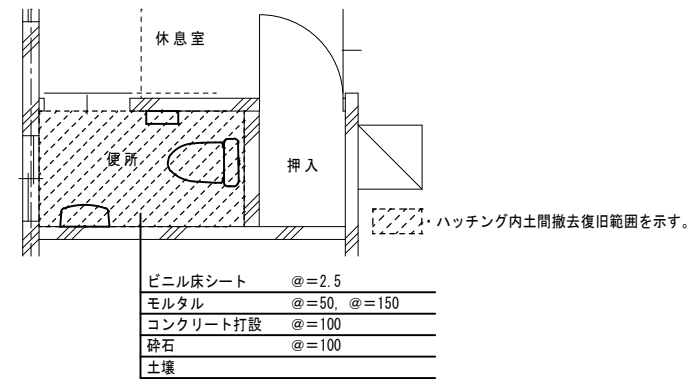


改修前 休息室廻り便所詳細図 S=1/50

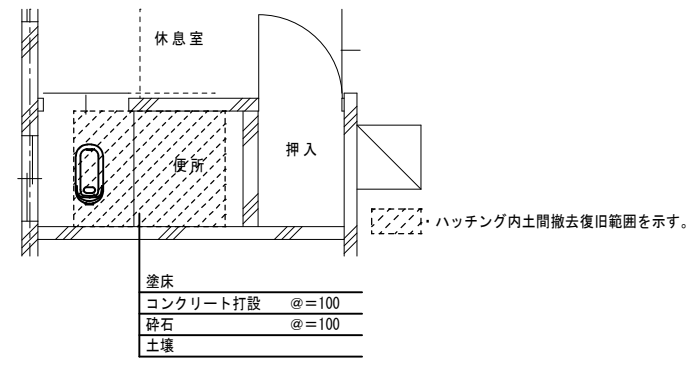


改修前 保育室廻り便所詳細図 S=1/50

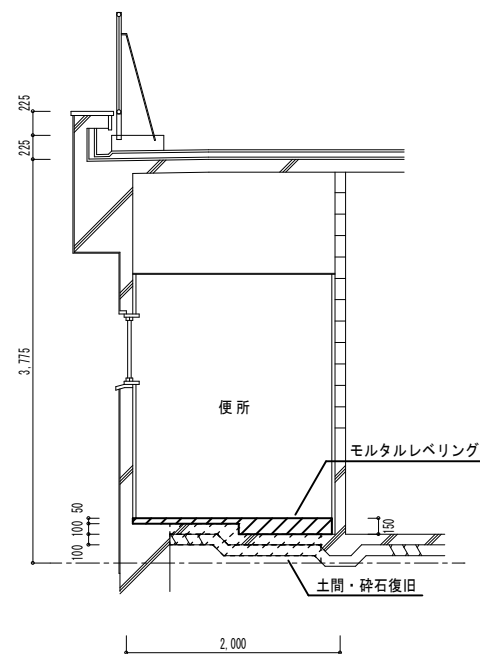
内部仕上表						
階	室名		床	壁	天 井	天井廻縁
1	休息室廻り便所	改修前	塗床	モルタル 金ごて仕上げ	石綿大平板 @=4.0	塩ビ
			モルタル 金ごて仕上げ		(カーテンレール・カーテン共) ※アスベスト含有品	
		改修後	下地調整の上、ビニル床シート @=2.5 新設	(※在来のまま、但し各所ビス穴等の不要な箇所はコーキング補修とする)	(※在来のまま、但し各所ビス穴等の不要な箇所はコーキング補修とする)	塩ビ
注) ・室内各所養生・清掃を見込むこと。						



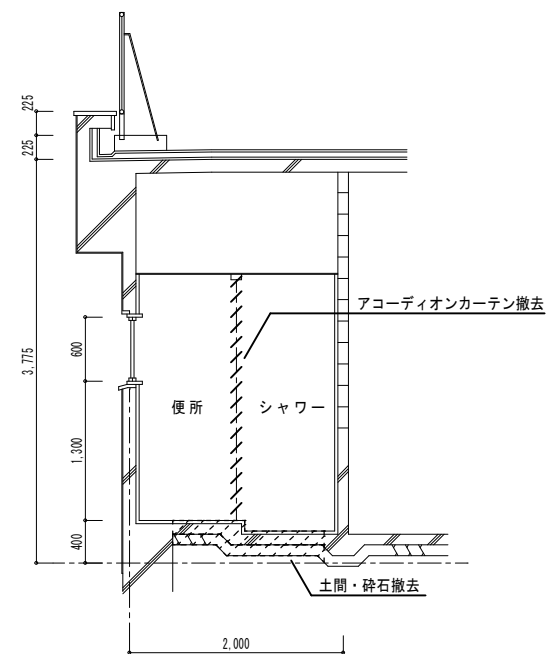
改修後 休息室廻り便所詳細図 S=1/50



改修前 休息室廻り便所詳細図 S=1/50



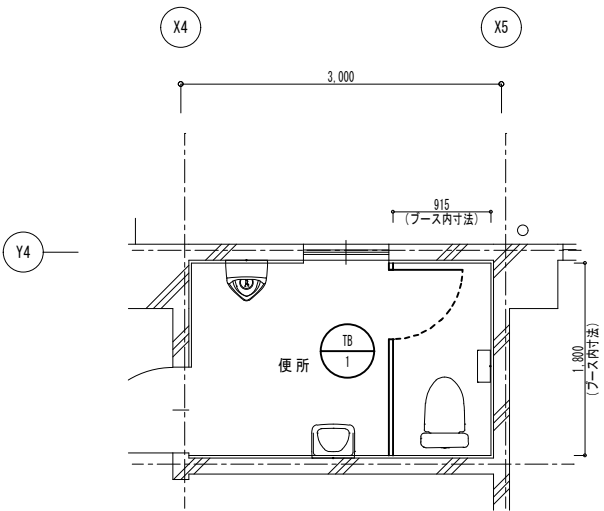
改修後 矩計図 S=1/50



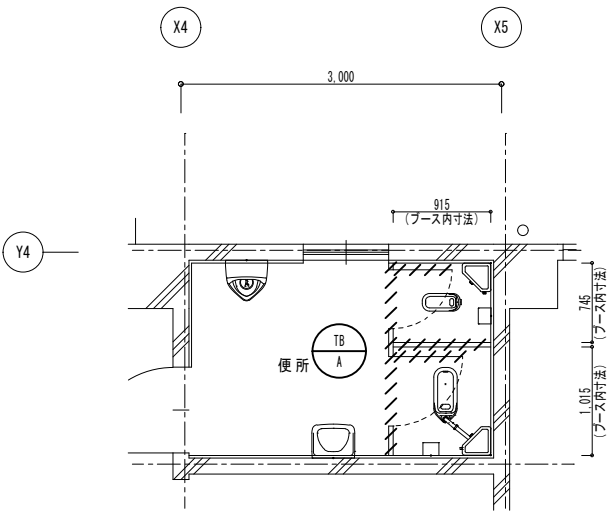
改修前 矩計図 S=1/50

建具表（改修前後）

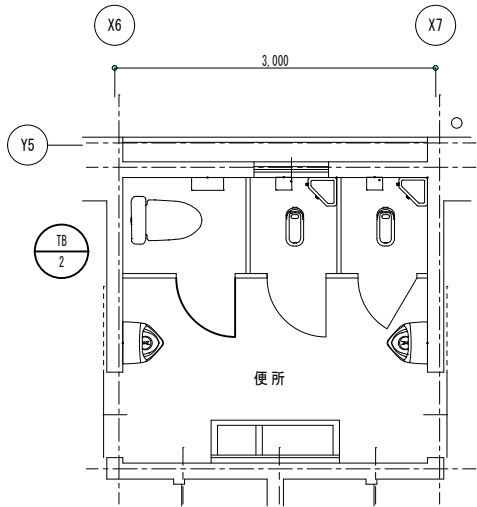
改修後		改修前		部 屋 名 階 数	数 量	新設扉寸法		既設扉寸法		
						W	H	W	H	
TB 1	新設： 中心吊ヒンジ(上下共) スライドロック(表示付) 戸当りストッパー（内開き90度用、笠木用） トイレブース扉 袖側アルミエッジ	TB A	撤去： ヒンジ(上下共) スライドロック 戸当りストッパー トイレブース扉（2枚） 袖側アルミエッジ 中仕切り	事務室便所	1 F	1	600	1,750	600	1,750
					1 F	1	-	-	500	1,150
TB 2	新設： 中心吊ヒンジ(上下共) スライドロック(表示付) 戸当りストッパー（外開き90度用、笠木用） 再利用： トイレブース扉	TB B	撤去： ヒンジ(上下共) スライドロック 戸当りストッパー 取外し： トイレブース扉	保育室便所	2 F	1	-	-	600	1,800



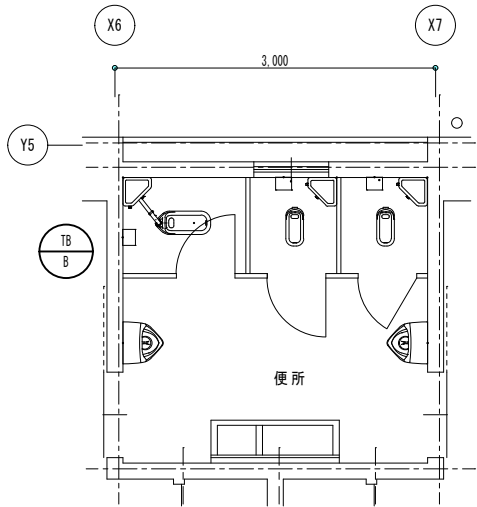
改修後 事務室廻り便所詳細図 S=1/50



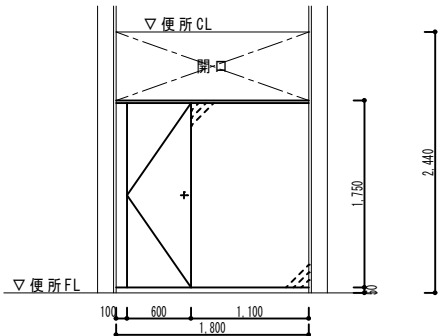
改修前 事務室廻り便所詳細図 S=1/50



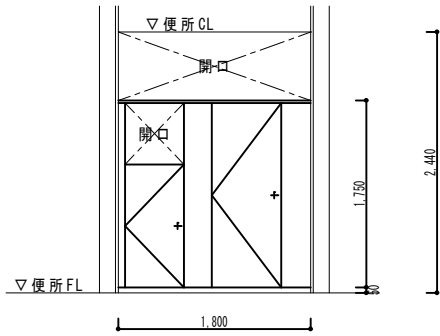
改修後 保育室廻り便所詳細図 S=1/50



改修前 保育室廻り便所詳細図 S=1/50



改修後 建具展開図 S=1/50



改修前 建具展開図 S=1/50

株式会社 設備計画

代表取締役 呼坂政明

工事名 トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）

図面名 糸崎保育所 建築工事 改修前後 建具表・各所便所詳細図

縮尺 S=1/50

図面番号

M

×

印は、撤去を示す。

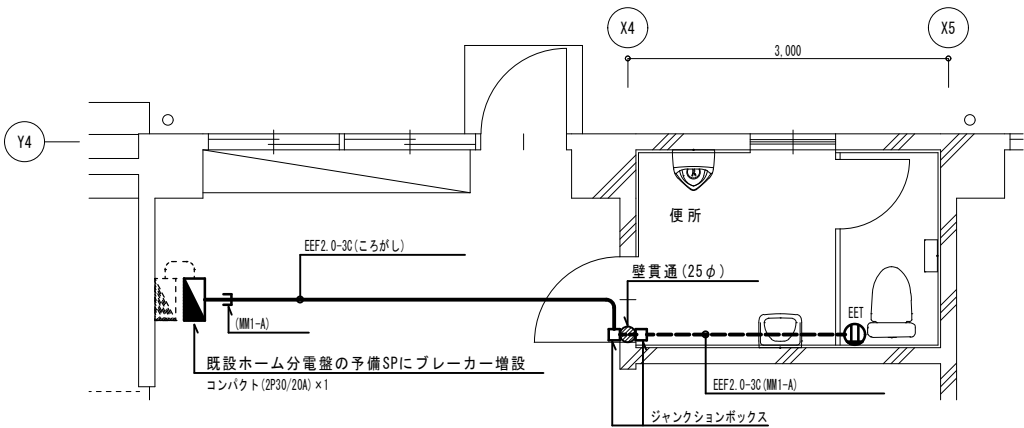
／

印は、取外しを示す。

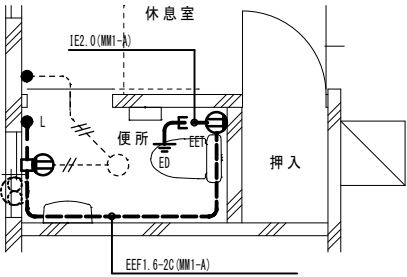
は、既設を示す。

(再)

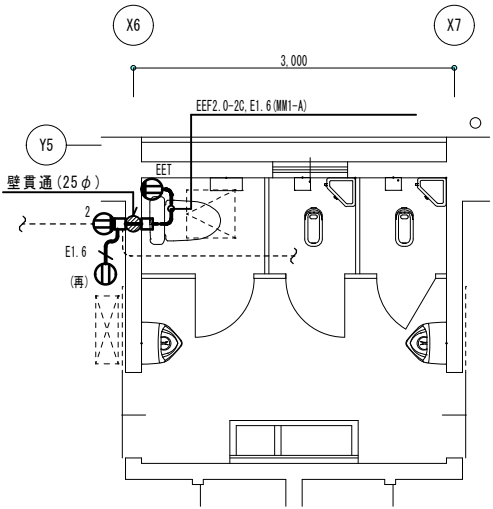
印は、再取付を示す。



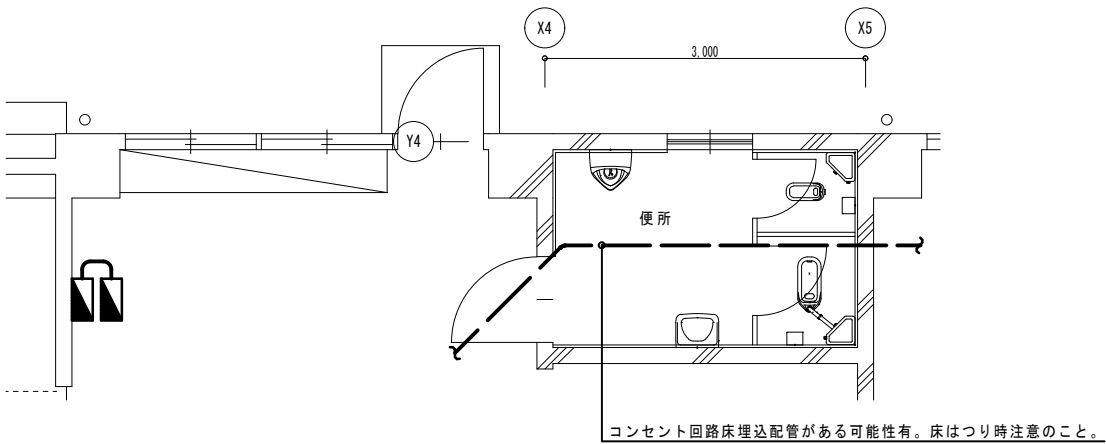
改修後 事務室廻り便所詳細図 S=1/50



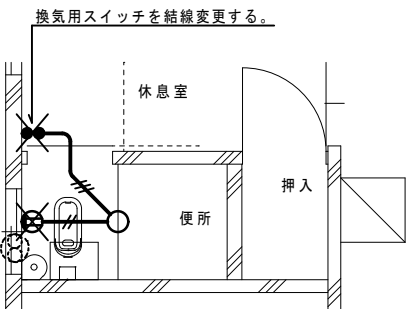
改修後 休息室廻り便所詳細図 S=1/50



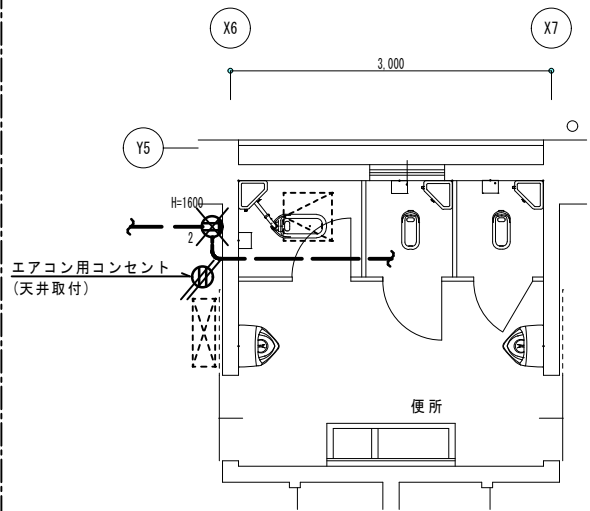
改修後 保育室廻り便所詳細図 S=1/50



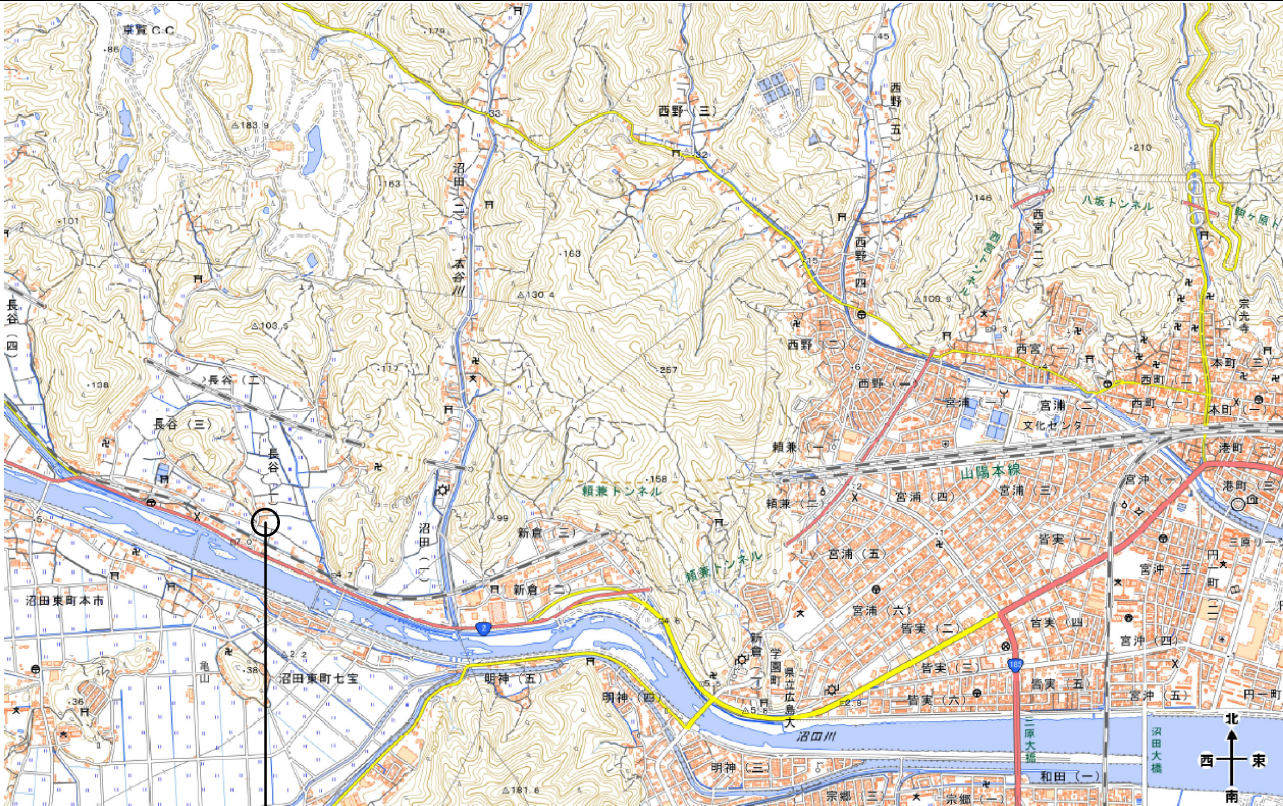
改修前 事務室廻り便所詳細図 S=1/50



改修前 休息室廻り便所詳細図 S=1/50



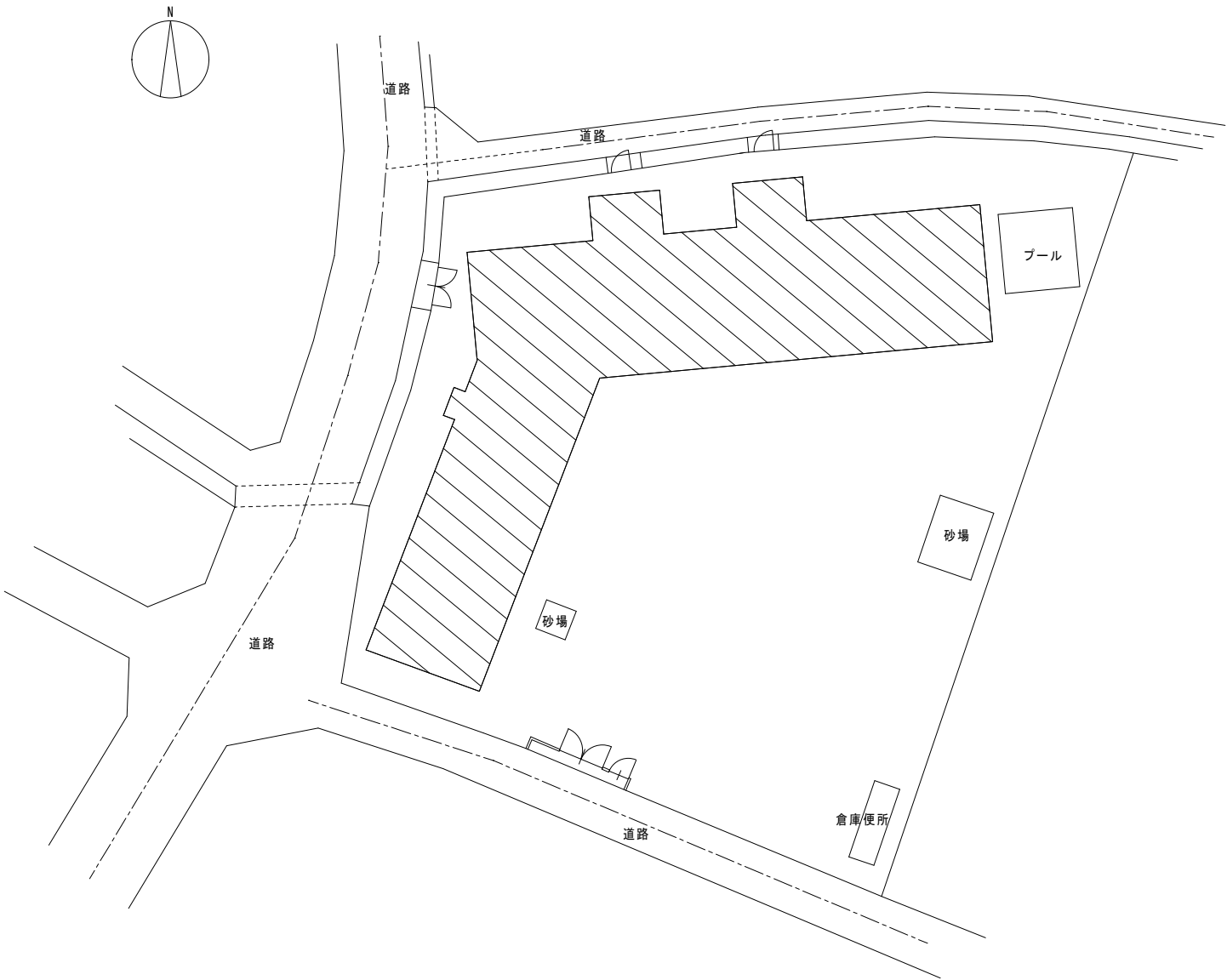
改修前 保育室廻り便所詳細図 S=1/50



付近見取図

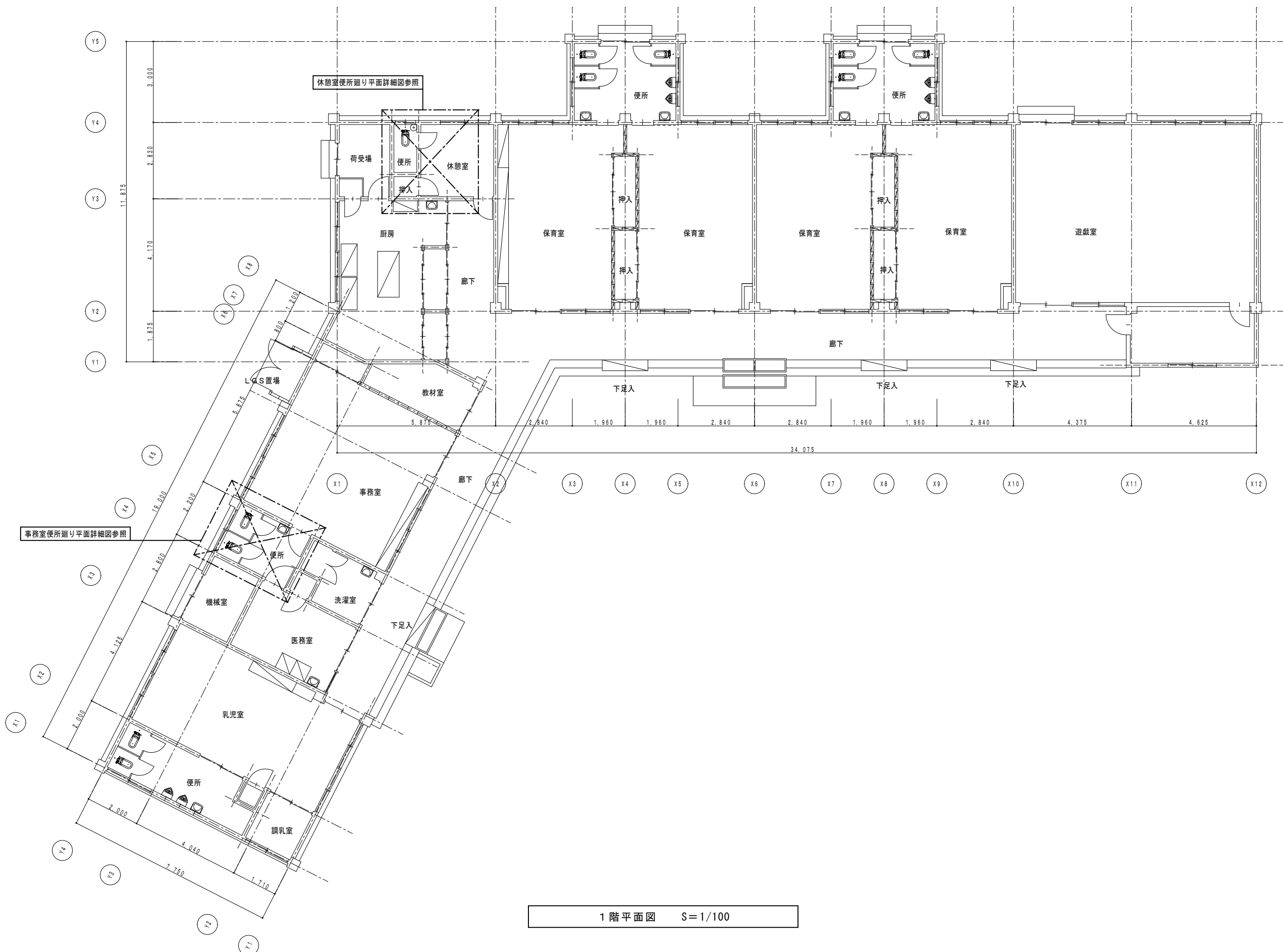
長谷保育所
三原市長谷一丁目

出典元：国土地理院



配置図 S=1/300

管 種 凡 例			
記 号	名 称	仕 様	
---	給 水 管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742	※改修後
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) JWWA K 116	※改修前
↓	汚 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	
↑	雑 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	
---	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	

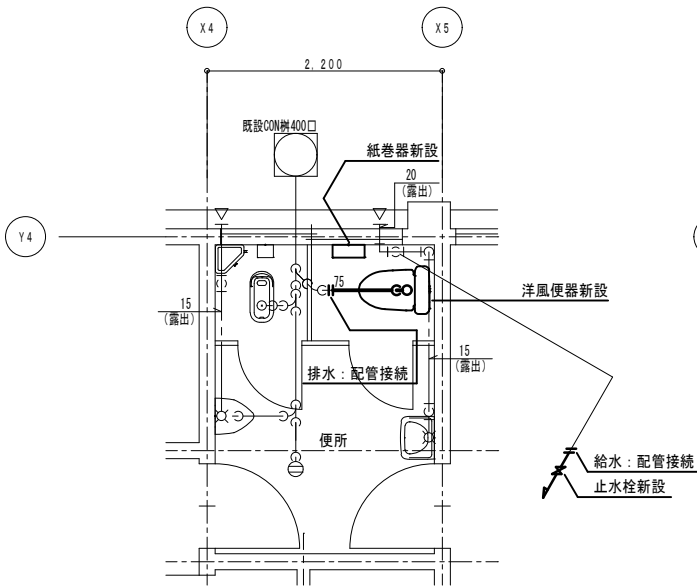


1 階平面図 S=1/100

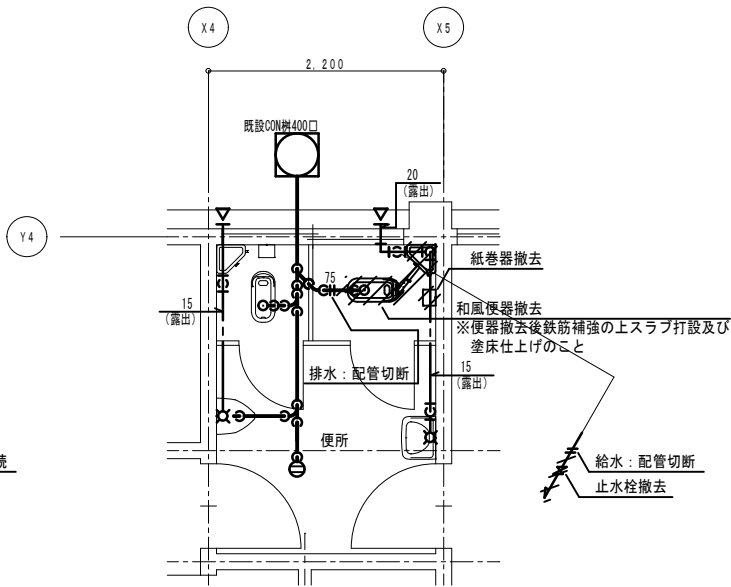
株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）	縮尺 S=1/100	図面番号 M 12
	図面名 長谷保育所 1 階平面図		

器 具 表 (新 設)					
器 具 名	品 番 (TOTO)	仕 様	合 計	事 務 室 便 所	休 憩 室 便 所
洋風大便器	CFS498BYC	床排水、床給水 床置大便器 フラッシュタンク式 ストレート止水栓	2	1	1
	TCF226 YH64SR	暖房便座（着座センサー）、棚付紙巻器（2連、樹脂製）・・・AC100V			
手洗器	LSW870ASMS	床排水、壁給水 コンパクト形 自動水栓（発電式） 止水栓	1		1
		水石嵌入れ			

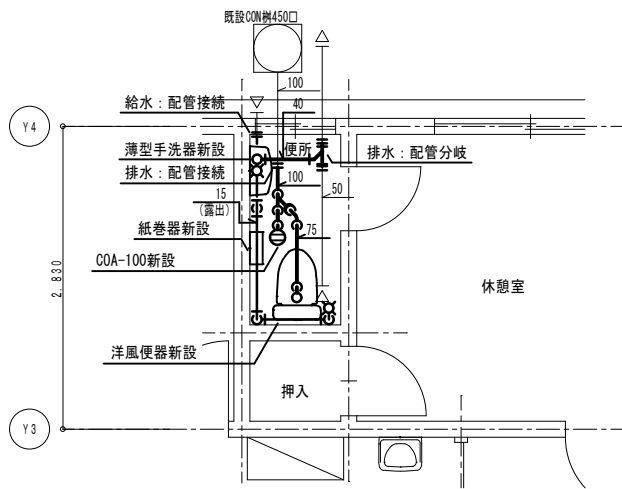
器 具 表 (撤 去)					
器 具 名	仕 様	合 計	事 務 室 便 所	休 憩 室 便 所	
和風便器	床排水、壁給水 隅付ロータンク	2	1	1	
	紙巻器（1連、SUS製）				
手洗器	壁排水、壁給水	1		1	
混合水栓	シャワー付、ホルダー共	1		1	



改修後 事務室便所廻り平面詳細図 S=1/50

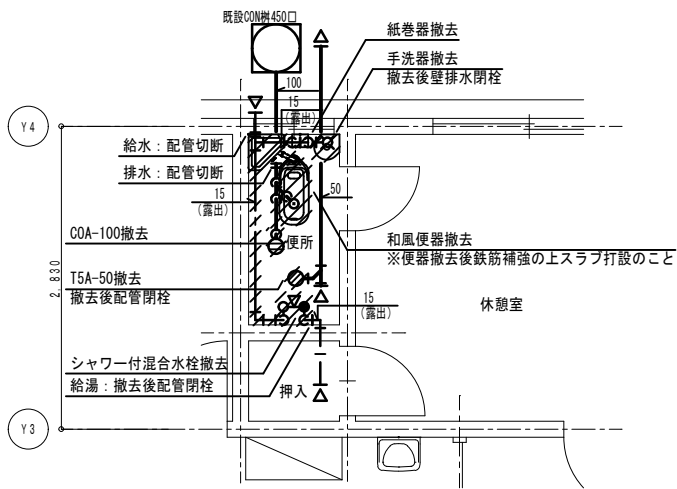


改修前 事務室便所廻り平面詳細図 S=1/50



注）・便所内の新設を行なう給水配管は保温を施すこと。

改修後 休憩室便所廻り平面詳細図 S=1/50



注）・便所内の撤去を行なう給水・給湯配管は保温を施していない。

改修前 休憩室便所廻り平面詳細図 S=1/50

株式会社 設備計画

代表取締役 呼坂政明

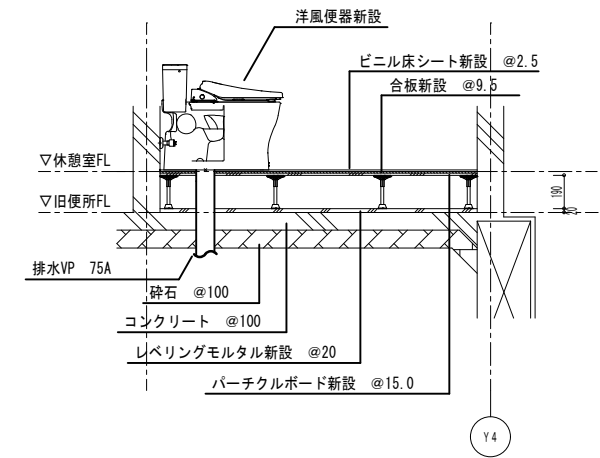
工事名 トイレ洋式化改修工事（糸崎保育所・長谷保育所）

図面名 長谷保育所 衛生設備 改修前後 器具表・各所平面詳細図

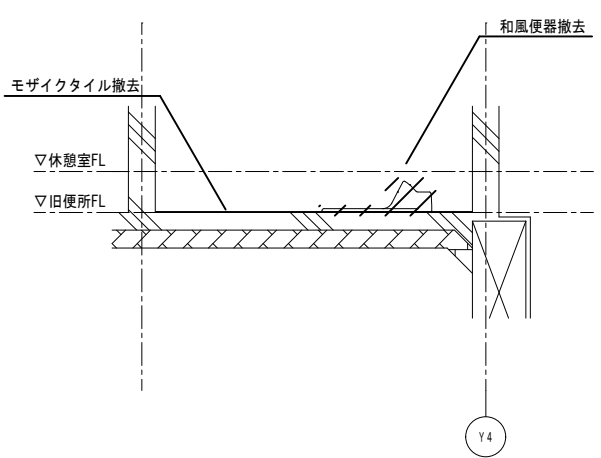
縮尺 S=1/50

図面番号 M

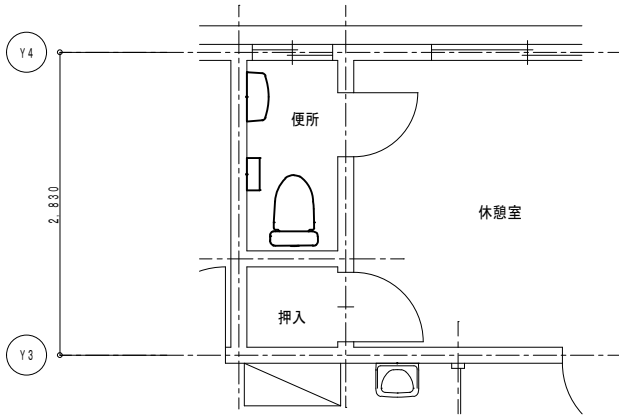
内部仕上表									
階	室名		床	下地	巾木	壁	下地	天 井	下地
1	休憩室便所	改修前	磁器モザイクタイル 25角 <撤去>	モルタル	無	モルタル塗り EP <在来のまま>	モルタル	石綿板板 @=4.0 <在来のまま>	LGS
			<表面はつり共>					※アスベスト含有品	
		改修後	ビニル床シート t=2.5 <新設>	モルタル	H=100 <新設>	<在来のまま>	モルタル	<在来のまま>	LGS
			合板 t=9.5 + パーチクルボード t=15.0 <新設>						
			<レベリング t≒20.0の上>						
注) ・室内各所養生・清掃を見込むこと。									
・各種撤去後のビス穴補修としてコーキング処理を見込むこと。									



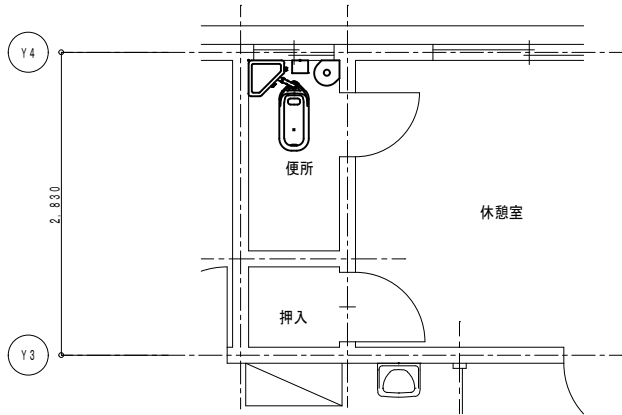
改修後 休憩室便所廻り断面詳細図 S=1/30



改修前 休憩室便所廻り断面詳細図 S=1/30



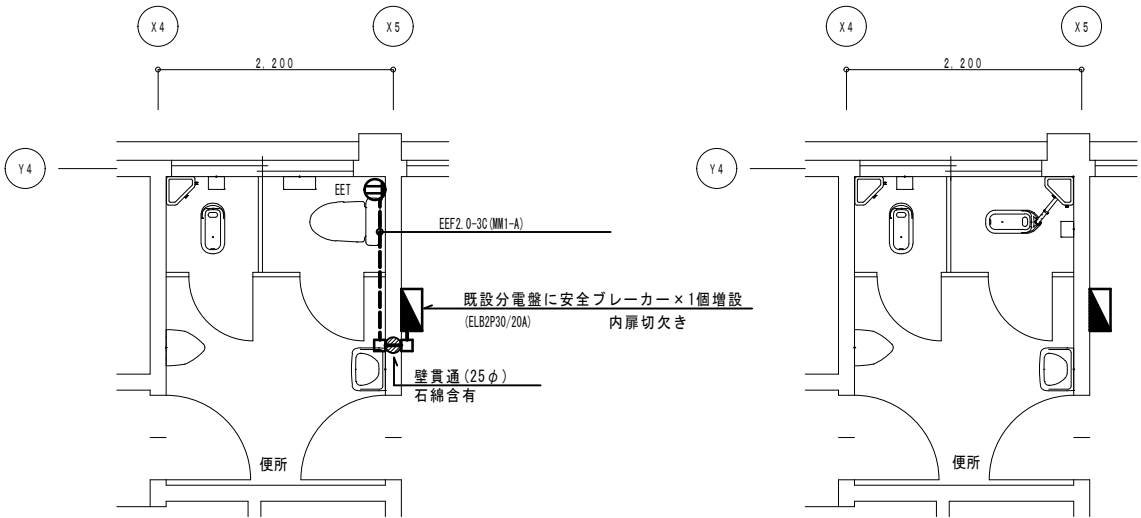
改修後 休憩室便所廻り平面詳細図 S=1/50



改修前 休憩室便所廻り平面詳細図 S=1/50

✕ 印は、撤去を示す。
----- は、既設を示す。

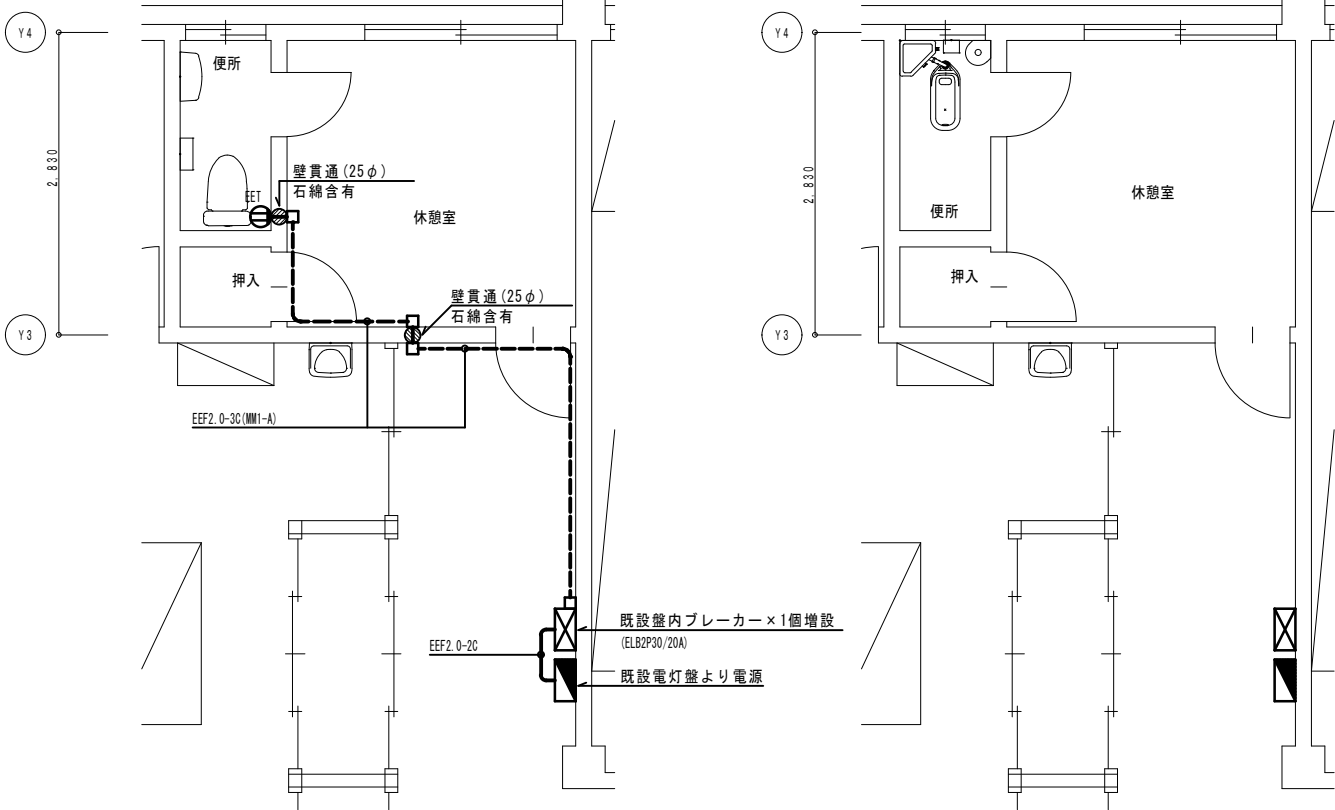
※壁貫通作業は湿潤化を行い、石綿を飛散させないこと



改修後 事務室便所廻り平面詳細図 S=1/50

改修前 事務室便所廻り平面詳細図 S=1/50

※壁貫通作業は湿潤化を行い、石綿を飛散させないこと



改修後 休憩室便所廻り平面詳細図 S=1/50

改修前 休憩室便所廻り平面詳細図 S=1/50

参 考 数 量 書

工 事 名 称

トイレ洋式化改修工事(糸崎保育所・長谷保育所)

[工事概要]

三原市糸崎三丁目外

用途,構造,面積

工 事 範 囲

給排水衛生設備改修工事

別 途 発 注 工 事

工 期

契約締結日の翌日から 令和9年2月25日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設 計 金 額 ￥

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

[illegible]

機械設備工事 種目別内訳

[illegible]

電気設備工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 種目別内訳

[illegible]

機械設備工事 科目別内訳

糸崎保育所

[illegible]

機械設備工事 科目別内訳

長谷保育所

[illegible]

電気設備工事 科目別内訳

糸崎保育所

[illegible]

電気設備工事 科目別内訳

長谷保育所

[illegible]

建築工事 科目別内訳

糸崎保育所

[illegible]

建築工事 科目別内訳

長谷保育所

[illegible]

機械設備工事 中科目別内訳

糸崎保育所					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
衛生器具設備		1	式		
計					
給水設備		1	式		
計					
排水設備		1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

機械設備工事 中科目別内訳

長谷保育所					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
衛生器具設備		1	式		
計					
給水設備		1	式		
計					
排水設備		1	式		
計					
撤去工事	衛生器具設備	1	式		
撤去工事	給水設備	1	式		
撤去工事	排水設備	1	式		
撤去工事	給湯設備	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

電気設備工事 中科目別内訳

糸崎保育所

[illegible]

電気設備工事 中科目別内訳

長谷保育所

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

糸崎保育所					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
鉄筋	内部仕上	1	式		
計					
コンクリート	内部仕上	1	式		
計					
金属	内部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
内外装	内部	1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		

建築工事 中科目別内訳

糸崎保育所

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

長谷保育所					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
鉄筋	内部仕上	1	式		
計					
コンクリート	内部仕上	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
内外装	内部	1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

糸崎保育所 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
器具類撤去		1	式			別紙 00-0002
和風便器撤去	タンク式 再使用しない	2	組			
手洗器撤去	再使用しない	1	組			
鏡撤去	再使用しない	1	枚			
計						
配管類撤去		1	式			別紙 00-0003
撤去ー塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 65A	1	m			
計						
配管付属品類撤去		1	式			別紙 00-0004
床排水トラップ 撤去	T5A-50	1	個			
計						

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

長谷保育所						
撤去工事				排水設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管類撤去		1	式			別紙 00-0012
撤去ー耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(管端防蝕)	機械室・便所 15A	1	m			
撤去ー塩化ビニル管(VP)	機械室・便所 75A	1	m			
撤去ー塩化ビニル管(VP)	機械室・便所 100A	1	m			
計						
配管付属品類撤去		1	式			別紙 00-0013
床上掃除口撤去	COA-100	1	個			
計						
配管切断		1	式			別紙 00-0014
配管切断(樹脂管類)・手間のみ	配管切断 75A 保温無	1	か所			
配管切断(樹脂管類)・手間のみ	配管切断 100A 保温無	1	か所			
計						

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

電気設備工事 別紙明細

糸崎保育所						
電灯設備			コンセント分岐			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配線器具		1	式			別紙 00-0017
ブレーカー	コンパクト 2P30/20A	1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 - 125V	1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 - 125V	1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	3	個			
タンブラースイッチ (金属プレート付)	1P 15A ×1 ネーム付 - -	1	個			
タンブラースイッチ (金属プレート付)	1P L 15A ×1 ネーム付 - -	1	個			
計						
電線		1	式			別紙 00-0018
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	1.6mm	4	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	2.0mm	1	m			
計						

電気設備工事 別紙明細

糸崎保育所						
電灯設備				コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	式			別紙 00-0019
EM-EEFケーブル	1.6mm- 2C 管内	6	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 2C 管内	2	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 3C 管内	6	m			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 3C ビット・天井	5	m			
計						
金属線び		1	式			別紙 00-0020
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)	16	m			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナーボックス	2	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) シェンクシオンボックス	3	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 1個用スイッチボックス	6	個			
計						

電氣設備工事 別紙明細

糸崎保育所		電灯設備		コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
接地工事		1	式			別紙 00-0021
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m	1	か所			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0022
機械はつり(ダイヤ モンドカッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 25mm	2	か所			
計						
取外し再取付費		1	式			別紙 00-0023
コンセント 取外し再取付	エアコン用	1	個			
計						

電氣設備工事 別紙明細

[illegible]

電氣設備工事 別紙明細

[illegible]

電氣設備工事 別紙明細

[illegible]

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]

現場管理費(積上) 明細

[illegible]